

葛飾区ソウル特別市麻浦区スポーツ親善交流派遣事業について

平成29年11月3日から5日まで、大韓民国ソウル特別市麻浦区へ、11歳以下の葛飾区サッカー選抜チーム16人が海外派遣に行ってきました。

この海外派遣は、葛飾区と姉妹都市であるソウル特別市麻浦区のサッカーチームと親善試合を行い、お互いの理解と友情を深め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて気運を盛り上げることを目的としています。

初日は歓迎式が行われたほか、麻浦区庁舎を見学し、夜は歓迎夕食会が行われました。

2日目は麻浦区の子どもたちとサッカー親善試合を2試合行い、結果は1勝1引き分けでした。試合後はソウルワールドカップスタジアムやフットボールペントナム、麻浦中央図書館を見学しました。

3日目は、麻浦区民体育センターを視察したほか、市内の歴史的建造物「景福宮」(キョンボックン)を見学しました。派遣事業を通じて、子どもたちは異文化を体験し、麻浦区の子どもたちとコミュニケーションを取るなど、友好・交流を図ることができました。

また、平成29年11月22日にはアマチュア合唱団として韓国トップの実力を誇る麻浦区立合唱団が初来日し、かつしかシンフォニーヒルズにて素晴らしい公演を行いました。

「かつしかのきょういく」は年3回発行です。皆様でご覧ください。



していただきました。派遣された子どもたちは、海外派遣の機に、葛飾区のリーダーとして成長し、将来葛飾区のために活躍してほしいと思います。生涯スポーツ課 ☎(3691) 7111



この広報誌は、印刷用の紙にリサイクルできます。

「都内初」葛飾柴又の文化的景観が国の重要文化的景観に選定へ

葛飾柴又の文化的景観については、地域や学識経験者等多くの方々とともに、7年余りにわたって、調査や保存方針の検討を進め、昨年7月に国に対し重要文化的景観の選定申請を行いました。

そして、昨年11月、国の文化審議会は、「葛飾柴又の文化的景観」を国の重要文化的景観に選定することを文部科学大臣あてに答申しました。

調査により明らかとなった、交通の結節点として他地域との交流の痕跡を残し、都市と農村という異なる顔を併せ持ち、柴又らしさを保ちつつ今なお都市としての発展を続ける葛飾柴又の魅力と、古墳時代から続く長い歴史や江戸川を背景とした風土、それらにより育まれてきた人々の生活や生業が一体となった葛飾柴又の景観が日本を代表する景観の一つとして評価されたのです。

正式決定は、今後の官報告示を待つこととなりますが、昨年の恵明寺の不動明王像(国重要文化財)に続き2年連続で、区内の文化財が国民全体の財産となります。

選定申請に際しては、柴又自治会をはじめ多くの地域の方々のご協力をいただきましたが、今後も地域の方々とともに、この素晴らしい景観を後世に引き継いでいく取組みを続けてまいります。

郷土と天文の博物館 ☎(3838) 1101



教育委員会の動き

10月から12月の間に、教育委員会の会議が6回開催され、「葛飾区立西小菅小学校一部改築・改修のための基本的な考え方」、「平成29年度葛飾区一般会計補正予算に関する意見聴取」など11件の議案と39件の報告事項を審議し、すべて可決・了承されました。

詳しくは葛飾区ホームページ <http://www.city.katsushika.jp> をご覧ください。(会議録もごらんいただけます。) 庶務課 ☎(5654) 8449